

平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会会議録目次

招集告示	1
応招・不応招議員	2
第 1 号 (3月20日)	
議事日程	3
本日の会議に付した事件	3
出席議員	3
欠席議員	3
説明のための出席者	3
事務局職員出席者	4
議事日程の報告	5
議長挨拶	5
諸般の報告	5
議席指定の件	7
会議録署名議員の指名の件	7
会期決定の件	8
(議案第1号及び議案第2号)の件、上程、管理者近況報告及び提案理由の説明	8
(議案第1号)の件、説明、質疑、討論、採決	10
・議案第1号 平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算	
(議案第2号)の件、説明、質疑、討論、採決	15
・議案第2号 平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算(第2号)	
職員挨拶	18
閉 会	19
署名議員	21

◎ 招 集 告 示

小山広域保健衛生組合
告示 第 1 号
平成30年2月20日

地方自治法（昭和22年法律第67号）第101条の規定により、平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会を次のとおり招集する。

小山広域保健衛生組合
管理者 大久保 寿夫

1. 期 日 平成30年3月20日（火）
2. 場 所 小山広域保健衛生組合 2階大会議室

○ 応 招 ・ 不 応 招 議 員

応招議員（14名）

1 番	津 野 田	重 一	2 番	稻 見	敏 夫
3 番	黒 川	広	4 番	眞 瀬	薫 正
5 番	小 谷 野	晴 夫	6 番	秋 山	幸 男
7 番	松 本	賢 一	8 番	福 田	洋 一
9 番	鈴 木	清 三	10 番	安 藤	良 子
11 番	青 木	美 智 子	12 番	関	良 平
13 番	生 井	貞 夫	14 番	角 田	良 博

不応招議員（なし）

第 1 回 定 例 会

(第 1 号)

平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会

議事日程

平成30年3月20日

午後3時03分開会

- 日程第 1 議席指定の件
日程第 2 会議録署名議員の指名の件
日程第 3 会期決定の件
日程第 4 議案第1号及び第2号の件、上程、管理者近況報告及び提案理由の説明
日程第 5 議案第1号の件、説明、質疑、討論、採決
日程第 6 議案第2号の件、説明、質疑、討論、採決

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（14名）

1番	津野田 重 一	2番	稲 見 敏 夫
3番	黒 川 広	4番	真 瀬 薫 正
5番	小谷野 晴 夫	6番	秋 山 幸 男
7番	松 本 賢 一	8番	福 田 洋 一
9番	鈴 木 清 三	10番	安 藤 良 子
11番	青 木 美 智 子	12番	関 良 平
13番	生 井 貞 夫	14番	角 田 良 博

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

管 理 者 (小 山 市 長)	大 久 保 寿 夫
副 管 理 者 (下 野 市 長)	広 瀬 寿 雄
副 管 理 者 (野 木 町 長)	真 瀬 宏 子
副 管 理 者 (上 三 川 町 長)	星 野 光 利
副 管 理 者 (小 山 市 副 市 長)	宮 嶋 誠
会 計 管 理 者 (小 山 市 会 計 管 理 者)	大 澤 正 幸

事務局 長	橋 本	薫
事務局次長兼 総務課 長	水 野	辰 雄
建設課 長	入 江	俊 文
施設管理課 長	岸	忠 男
小山聖苑所 長	荒 川	毅
建設課 エネルギー回収 推進室 長	細 島	讓
建設課 マテリアルリサイクル 推進室 長	日 向 野	政 昭

○事務局職員出席者

総務課総務係 長	鹿 久 保	礼 子
総務課 主 事	松 沼	弘 茂
総務課 主 事	櫻 井	仙 太 郎
総務課 主 事	赤 羽	麻 希 子
総務課 主 事	石 崎	秀 雄

○議事日程の報告

○水野辰雄事務局次長兼総務課長 全員ご起立をお願いいたします。

礼、ご着席願います。

出席議員数及び議事日程を報告いたします。

ただいまの出席議員数は14名であります。

次に、本日の議事日程を申し上げます。日程第1、議席指定の件、日程第2、会議録署名議員の指名の件、日程第3、会期決定の件、日程第4、議案第1号及び第2号の件、上程、管理者近況報告及び提案理由の説明、日程第5、議案第1号の件、説明、質疑、討論、採決、日程第6、議案第2号の件、説明、質疑、討論、採決。

次に、本会議に出席した事務局職員の職・氏名を申し上げます。

総務課総務係長	鹿久保 礼 子
総務課主事	松 沼 弘 茂
総務課主事	櫻 井 仙太郎
総務課主事	赤 羽 麻希子
総務課主事	石 崎 秀 雄

以上であります。

○議長挨拶

○関 良平議長 皆さん、こんにちは。平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、公私ともにご多忙のところご出席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今期定例会は、平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算及び平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算（第2号）、以上2件の案件が提出されておりますので、議員の皆様には、慎重にご審議の上、適切にご決定をされまして、住民の負託に応えられますようお願い申し上げます。

なお、議事運営につきましては、皆様の特段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、開会の挨拶といたします。

午後 3時03分 開 会

○関 良平議長 ただいまから平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会を開会いたします。これより本日の会議を開きます。

○諸般の報告

○関 良平議長 日程に先立ち、事務局次長に諸般の報告をさせます。

水野事務局次長。

○水野辰雄事務局次長兼総務課長 諸般の報告を申し上げます。

監査委員からお手元に配付のとおり、定例監査結果報告が提出されております。前例により朗読を省略させていただき、会議録に登載いたしますので、ご了承願います。

小広組監第3号

平成29年12月20日

小山広域保健衛生組合管理者 大久保 寿夫 様

小山広域保健衛生組合議会議長 関 良平 様

小山広域保健衛生組合

監査委員 舘野 治信

小山広域保健衛生組合

監査委員 生井 貞夫

平成29年度定例監査の結果に関する報告について

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定例監査を実施したので、同条第9項の規定により別紙のとおり提出する。

定例監査報告

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 監査対象 | 総務課、政策課、小山聖苑、施設管理課、建設課 |
| 2 | 監査期日 | 平成29年12月12日（火）午前10時10分～午後3時 |
| | 場 所 | 小山広域保健衛生組合 2階 大会議室 |
| 3 | 監査の方法 | 監査は、事前に提出を求めた監査資料の予備監査終了後、監査資料に基づき、財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われているかどうか及び経営に係る事業の管理が合理的かつ効率的に行われているかについて、関係職員から説明を聴取し実施した。 |
| 4 | 監査の結果 | 監査の結果、平成29年度（4月1日～9月30日）における小山広域保健衛生組合の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正かつ効果的に執行されたものと認められた。 |
| 5 | 講 評 | 定例監査資料及び関係帳簿、証票に基づき各所属長から詳細に説明を受け、その内容について確認、検証を行った。
監査資料の書式については、各課で統一されていない箇所が見られたので、統一を図ること。 |

残骨灰の貴金属の処理については、速やかに検討を進めていただきたい。

予算の執行状況については、歳入、歳出ともに予算に基づき適正に執行されており、業務執行に当たっての数値、預金通帳等を照合した結果、正確であると認められた。また、施設の管理運営については、各施設の役割を認識し、安全で効率的な維持管理が行われ周辺の環境にも注意を払われていることを確認することができた。

当組合の財政状況は、大部分の財源が構成市町の分担金であり、各市町の財政状況も厳しい状況が続くものと予測されるが、老朽化した施設の補修、維持管理に係る委託料、今後の施設整備に係る費用など、多額の財源を必要としている状況である。

いくつかの予算について、補正が必要なものが見受けられるので、補正予算計上を含め、適切な調整を行うことを図ること。

今後も当組合を取りまく財政状況は、ますます厳しいものとなるが、職員においては、構成市町の住民の負託に応えるよう効率的で効果的な業務の執行を要望し講評とする。

次に、地方自治法第121条の規定に基づき、出席を要求した者の職・氏名は、お手元に配付いたしました一覧表のとおりでありますので、ご了承願います。

以上で諸般の報告を終わります。

○議席指定の件

○関 良平議長 日程第1、議席の指定を行います。

このたび上三川町議会から選出されました、津野田重一議員及び稲見敏夫議員の議席は、小山広域保健衛生組合議会会議規則第2条の規定を受けて準用する小山市議会会議規則第3条の規定により、津野田重一議員の議席は1番に、稲見敏夫議員の議席は2番にそれぞれ指定いたします。

○会議録署名議員の指名の件

○関 良平議長 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、小山広域保健衛生組合議会会議規則第2条の規定を受けて準用する小山市議会会議規則第89条の規定により、

5番 小谷野 晴 夫 議員

6番 秋 山 幸 男 議員

を指名いたします。

○会期決定の件

○**関 良平議長** 日程第3、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は本日1日としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○**関 良平議長** ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日1日と決定いたしました。

○（議案第1号及び議案第2号）の件、上程、管理者近況報告及び提案

理由の説明

○**関 良平議長** 日程第4、議案第1号及び第2号の件を一括議題といたします。

本件については、お手元に配付のとおり、管理者から議案が提出されておりますので、送付書及び議案件名の朗読を省略し、会議録に登載することについてご了承願います。

小山広域保健衛生組合議会議長 関 良平様

小山広域保健衛生組合管理者 大久保寿夫

小山広域保健衛生組合議会議案等の送付について

平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会の議案書を別冊のとおり送付いたします。

記

議案番号	件名
議案第1号	平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算
議案第2号	平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算（第2号）

○**関 良平議長** 次に、近況報告及び提案理由について、管理者の説明を求めます。

大久保管理者。

〔大久保寿夫管理者登壇〕

○**大久保寿夫管理者** 本日ここに、平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様におかれましてはご多忙中にもかかわらずご出席を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

平成29年10月31日に開催いたしました第4回組合議会定例会以降の近況についてご報告申し上げます。

初めに、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画についてであります。各課において今年度内に策定すべく作業を進め、今回取りまとめたところであります。今後は、この個別施設計画に基づき、適切に維持管理し、更新等費用の抑制に努めてまいります。

次に、新地方公会計に伴う平成28年度財務書類についてであります。財務書類がまとまりましたので、今月中に公表いたします。平成29年度の財務書類につきましても、次回の定例会で報告できますよ

う作業を進めてまいります。

次に、小山地区夜間休日急患診療所についてであります。2月末現在における利用患者数は8,660人で、前年度の同時期と比較いたしますと、283人増加しております。これは、季節性インフルエンザのA型、B型が今年度は同時期に流行していることによるものです。これにより、本年度末の利用患者数は、前年度より約300人増え、9,300人に達するものと思われま。

次に、マテリアルリサイクル推進施設等整備・運営事業の進捗状況についてであります。同施設の建設工事は1月10日に着手し、2月末現在の進捗率は約7%となっております。今後も周辺環境に十分配慮しながら、安全確実な工事に努めてまいります。

次に、北部清掃センター解体等工事の進捗状況についてであります。12月末までに工場内部のプラント機器類の解体・撤去が完了し、現在工場棟本体及び煙突の解体を進めており、2月末現在の進捗率は約70%となっております。今後も周辺環境に十分配慮しながら安全確実な工事に努めてまいります。

次に、中央清掃センターについてであります。2月末現在におけるごみの総搬入量は6万2,295トンで、そのうち可燃ごみは5万948トンでした。前年度の同時期と比較いたしますと、ごみの総搬入量は2,146トンの増で、そのうち可燃ごみは1,952トンの増となっております。このように現在当組合で処理する可燃ごみが増加していることから、関係市町には排出されるごみを減らすよう努力していただくとともに、当組合といたしましても、関係市町の部課長級による推進会議等で、ごみの減量に効果的かつ実施可能な施策について検討を進めております。

なお、資源物の搬出につきましては、紙・布類等の可燃系資源物が3,295トン、鉄・アルミ・ペットボトル等の不燃系資源物が2,205トン、使用済み小型家電が285トンあり、それぞれリサイクルするため売却しております。

次に、南部清掃センターについてであります。2月末現在におけるごみの総搬入量は4,807トンでした。主な内訳は、容リ法対象ビニ・プラが2,422トン、剪定枝が1,262トン、生ごみは野木町のみとなりますが、726トンとなっております。前年度の同時期と比較いたしますと、ごみの総搬入量は262トンの減となっており、容リ法対象ビニ・プラは245トンの減、剪定枝は118トンの増、生ごみは68トンの減となっております。

搬出につきましては、本施設で選別処理を行ったビニ・プラは、日本容器包装リサイクル協会を通じて1,839トンを再商品化しております。また、剪定枝チップは1,031トン、生ごみを主原料とした堆肥は12トンを売却するとともに、構成市町にPR用堆肥として7トン配布しており、順調に操業しております。

次に、小山聖苑についてであります。2月末現在における稼働日数は279日で、火葬件数は2,019件でした。前年度の同時期と比較いたしますと、47件の減となっております。同じく斎場の稼働日数は328日で、告別式及び通夜の件数は1日最大4件で、合計951件でした。前年度の同時期と比較いたしますと、22件の減となっております。

次に、上程になりました議案の概要につきましてご説明申し上げます。今回提出いたしました議案は、

当初予算に関するもの1件、補正予算に関するもの1件であります。

議案第1号は、平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算であります。予算編成に当たりましては、構成市町の極めて厳しい財政状況を考慮し、健全財政の堅持、行財政運営の効率化、適切な財源の確保などの方針に沿って編成いたしました。

その結果、平成30年度の一般会計の予算総額は、前年度比11.9%増の61億9,427万3,000円となっております。これは、主にマテリアルリサイクル推進施設等整備・運営事業に係る経費等の増によるものであります。

議案第2号は、平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算（第2号）であります。今回の補正は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,200万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ56億7,408万3,000円としようとするものであります。

以上が、今回提出いたしました議案の概要であります。詳細につきましては、事務局長に説明させていただきますので、何とぞ慎重にご審議の上、議決くださいますようお願い申し上げます。

○関 良平議長 管理者の説明は終わりました。

ただいまの近況報告に限り質疑を許します。

〔「なし」と言う者あり〕

○関 良平議長 お諮りいたします。

管理者の近況報告に対する質疑を打ち切りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○関 良平議長 ご異議なしと認め、近況報告に対する質疑を終結いたします。

○（議案第1号）の件、説明、質疑、討論、採決

○関 良平議長 日程第5、議案第1号 平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算を議題といたします。

議案の朗読を省略して、事務局の説明を求めます。

橋本事務局長。

○橋本 薫事務局長 ただいま上程となりました議案第1号 平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算についてご説明申し上げます。予算の内容につきましては、別冊となっております平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算書にてご説明申し上げます。

それでは、1ページをお開きください。第1条第1項のとおり、小山広域保健衛生組合一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ61億9,427万3,000円と定めようとするもので、前年度より6億5,714万7,000円、11.9%の増額となっております。詳細につきましては、歳入歳出予算事項別明細書でご説明いたします。

続きまして、4ページをお開きください。「第2表 継続費」についてご説明を申し上げます。小山

聖苑火葬炉更新工事に伴い、平成30年度、31年度、32年度の3カ年総額4億7,811万1,000円で継続費を設定するものです。

次に、「第3表 債務負担行為」についてご説明申し上げます。現在の中央清掃センターの委託契約は、160トン焼却施設及び粗大ごみ処理施設の運転維持管理業務と受け付け業務となっておりますが、マテリアルリサイクル推進施設が平成31年度に稼働することに伴い、粗大ごみ処理施設は平成30年度末で稼働停止となります。そのために、平成31年度からは、160トン焼却施設の運転維持管理業務と受け付け業務の長期委託を予定していることから、5年間の債務負担行為限度額16億7,851万6,000円を設定するものでございます。

続きまして、5ページ、「第4表 地方債」をご覧ください。こちらは3つの事業について起債をするものですが、1の一般廃棄物処理施設建設事業は、マテリアルリサイクル推進施設建設工事費用約25億7,100万円のうち16億8,140万円を限度額として、2の北部清掃センター解体・撤去事業は2億7,000万円を公共施設適正管理事業債、3,000万円を栃木県市町村振興資金、合計3億円を限度額として考えております。3の小山聖苑火葬炉更新事業は、費用約1億4,411万1,000円のうち1億2,970万円を限度額として、それぞれ借り入れするものでございます。

続きまして、6ページ、7ページをお開きください。歳入歳出予算事項別明細書の総括表でございますが、説明を省略させていただき、続けて8ページ、9ページをお開きください。歳入についてご説明申し上げます。

1款分担金及び負担金、1項分担金、1目市町分担金は28億9,188万7,000円で、前年度より1億6,431万円、5.4%の減額でございます。主に組合債の増額及び公債費の減額によるものでございます。

2款使用料及び手数料は、1項使用料、1目衛生使用料は1億893万5,000円で、前年度より340万3,000円、3.2%の増額でございます。主に夜間休日急患診療所の使用料355万5,000円の増額を見込んだことによるものでございます。

同じく2項手数料、1目衛生手数料は3億7,153万6,000円で、前年度より1,371万円、3.8%の増額でございます。主に中央清掃センターの清掃手数料1,477万5,000円の増額を見込んだことによるものです。

次に、3款国庫支出金、1項国庫補助金、1目衛生費国庫補助金は6億1,700万円で、前年度より3億6,115万円、141.2%の増額でございます。内訳は、マテリアルリサイクル推進施設建設に伴う循環型社会形成推進交付金でございます。

次に、4款県支出金、1項県補助金、1目衛生費県補助金と5款財産収入、1項財産運用収入、1目利子及び配当金は、科目設置の1,000円で、前年度と同様でございます。

次に、6款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金は、前年度3億円でしたが、新年度は科目設置とするものです。

続きまして、10ページ、11ページをお開きください。7款繰越金、1項繰越金、1目繰越金及び8款諸収入、1項組合預金利子、1目組合預金利子は、科目設置の1,000円で、前年度と同様でございます。

同じく2項雑入、1目雑入は9,381万円で、前年度より3,565万9,000円、61.3%の増額でございます。主に前年度科目設置としておりました70トン償却施設の発電売却料を、実績により2,784万9,000円見込んだことによるものと、中央清掃センター及び南部清掃センターの資源売却料761万3,000円の増額を見込んだことによるものです。

次に、9款組合債、1項組合債、1目衛生債は21億1,110万円で、前年度より7億753万4,000円の増額でございます。内訳は、マテリアルリサイクル推進施設建設、北部清掃センター解体・撤去、小山聖苑火葬炉更新に係る事業債でございます。

次に、12、13ページをお開きください。歳出についてご説明いたします。別冊の予算参考資料の4ページ、事業費に関する調べをあわせてご覧ください。

1款議会費、1項議会費、1目議会費は377万1,000円で、前年度より13万円、3.3%の減額でございます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は8,647万7,000円、前年度より16万8,000円、0.2%の減額でございます。

14、15ページをお開きください。同じく2目政策管理費は4,088万9,000円で、前年度より293万6,000円、6.7%の減額でございます。

同じく2項監査委員費、1目監査委員費は18万8,000円、前年度より2万2,000円、10.5%の減額でございます。

16、17ページをお開きください。3款衛生費、1項保健衛生費、1目保健予防費は2,740万7,000円で、前年度より187万1,000円、7.3%の増額でございます。主に職員2名のうち1名の再任用職員が、正規職員に代わることによる人件費の増額でございます。

同じく2目夜間休日急患診療所費は7,000万7,000円で、前年度より48万6,000円、0.7%の増額でございます。主に医療器具備品の老朽化に伴う更新費用の増額によるものです。

同じく3目休日急患歯科診療所費は780万4,000円で、前年度より22万2,000円、2.9%の増額でございます。主に2目と同様、医療器具備品の老朽化に伴う更新費用の増額によるものでございます。

18ページ、19ページをお開きください。同じく4目小山聖苑費は3億3,728万8,000円で、前年度より1億3,693万3,000円、68.3%の増額でございます。主に施設の老朽化に伴う15節工事請負費において、火葬炉更新工事1億4,911万1,000円、外壁改修工事、屋上防水改修工事等6,477万3,000円を計上したことによるものでございます。

同じく2項清掃費、1目焼却施設費は15億1,181万2,000円で、前年度より5,349万3,000円、3.7%の増額でございます。主に15節工事請負費において、ごみ・灰クレーン補修工事、電気集じん機補修工事、160トン焼却施設更新工事等4億637万8,000円を計上したことによるものでございます。中央清掃センター160トン炉の焼却施設につきましては、建設から31年が経過し、安全稼働のための補修工事が必要となっている状況でございます。

20ページ、21ページをご覧ください。同じく2目粗大ごみ処理施設費は2億5,187万4,000円で、前年度より9,707万円、27.8%の減額でございます。主に15節工事請負費において、マテリアルリサイクル推進施設の建設に伴う粗大ごみ処理施設の平成30年度末稼働停止により、最低限の補修工事1,390万5,000円を計上したことによるものでございます。

同じく3目南部清掃センター費は2億4,021万4,000円で、前年度より520万6,000円、2.1%の減額でございます。主に可燃物残渣臨時運搬等処分にかかわる事業委託料655万3,000円の減額によるものでございます。

22ページ、23ページをお開きください。同じく4目小山広域クリーンセンター費は3億7,001万9,000円で、前年度より801万4,000円、2.2%の増額でございます。

同じく5目ごみ処理施設建設費は27億7,251万5,000円で、前年度より10億9,848万7,000円、65.6%の増額でございます。主に15節工事請負費において、マテリアルリサイクル推進施設等建設工事費25億7,100万円を計上したことによるものです。

同じく6目40トン焼却施設費は3億2,058万6,000円で、前年度より4億621万4,000円、55.9%の減額でございます。

24、25ページをお開きください。4款公債費、1項公債費、1目元金は1億3,543万2,000円で、前年度より1億3,082万3,000円、49.1%の減額でございます。主に小山聖苑及びし尿処理施設で一部償還が完了したこと及び繰上償還を行うことによる減額でございます。

同じく2目利子は1,549万円、前年度より21万円、1.4%の増額でございます。

5款予備費、1項予備費、1目予備費は250万円で、前年度と同額でございます。

なお、26ページ以降の給与費明細書等の調書並びに別冊の予算参考資料、市町別分担金、分担金算出基礎資料につきましては、説明を省略させていただきますので、ご了承願います。

以上が議案第1号 平成30年度小山広域保健衛生組合理一般会計予算の説明となります。以上です。

○関 良平議長 上程議案に対して質疑を許します。

11番、青木美智子議員。

○11番（青木美智子議員） 予算参考資料の4ページの議会費ですが、議会運営費の中で先進地視察ということで164万7,000円計上されていますが、毎年視察に出かけていますよね。もう今の広域の施設の進行ぐあいを考えた場合に、毎年行く必要があるのかどうかというところで、私はちょっと疑問に思っています、どうしても必要であれば、毎年ではなくて、1年置きにするとか、そういうこともぜひ考えていただきたいと思っています。

もう一点ですが、同じく参考資料の5ページの小山聖苑工事費についてです。先ほどの総合管理計画の個別計画書、これの最後のほう、9ページ、10ページのところに、聖苑について細かくいろいろ計画が出ています、いろいろな取り組みなどが。それとあわせて、今年度の計画の火葬炉の工事などについてはどのようになっているのか、ちょっとご説明をお願いいたします。

○関 良平議長 答弁、橋本事務局長。

○橋本 薫事務局長 ただいまのご質問にお答え申し上げます。

まず、議員さんの視察の件でございます。昨年も同様の質問をお受けいたしまして、議員さんにアンケート調査をさせていただきました。その結果、約9割の議員さんが例年どおり勉強のために行きたいというような回答でございました。今後においても議長さんと相談しながら、行き先とか内容について詰めていければというふうに考えております。以上でございます。

○関 良平議長 11番、青木議員。

○11番（青木美智子議員） その件につきましては、監査委員の方も、財政状況はますます厳しいというところを書かれていますし、借金は42億もあるわけですね。やはり細かいところからやはり全部足されて、経営のほうにも少し考えていかないと、無駄を排出してということで私は意見を言っておりますので、その点をお含みおき願いたいと思います。

○関 良平議長 荒川毅小山聖苑所長。

○荒川 毅小山聖苑所長 ただいまのご質問にお答えいたします。

小山聖苑につきましては、火葬炉が8基ございまして、うち6基につきましては建設当初からございまして、もう30年経過しておりますので、そちらの炉を更新するため3年間で、1系統2基ずつございまして、3系統、計6基ございまして、一気に更新できませんので、順次1系統2基ずつ、3年間にわたり更新していくという計画でございます。

○関 良平議長 11番、青木議員。

○11番（青木美智子議員） 今は1日3体の火葬が可能であるけれども、1日最大4体までできるようにというような考えがあるわけですね、その個別計画ですと。当面は、まだそこまでやらずに火葬炉の更新工事をするということですね。

○関 良平議長 答弁、橋本事務局長。

○橋本 薫事務局長 ただいまのご質問にお答えいたします。

小山聖苑につきましては、当初からの火葬炉が先ほど説明があったように3系統6基ございまして、平成25年に新たに2基を整備いたしまして、そちらが新しいわけです。その30年来使っている6基につきまして、6基と今の新しいもの2基、8基あるわけですが、それでローテーションを組んで、1日14体を火葬する能力を持っています。ですから、火葬するのは間に合わないということはずないのですけれども、ただ斎場のほうが大と小と2つしかございませぬ。ですから、そちらでとられてしまうと、火葬のほうはできますが、告別式のほうが無理だと。そちらは、ですからどうしても早目に使いたいという方は、民間のほうを使っていただくというような形をとっているわけです。

その古い6基につきまして、2炉を、1系列をするのに約1億4,000万円さきかかるのです。ですから、それを来年から2基ずつ更新工事をしていく。それも14体を1日火葬できる能力を持ちながら続けて更新工事をしていくということで、2基ずつ3年間という形をとらせていただきたいと思います。以上でございます。

以上でございます。

○関 良平議長 ほかにございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○関 良平議長 お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案について、質疑を打ち切り、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○関 良平議長 ご異議なしと認めます。

よって、これより採決いたします。

議案第1号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○関 良平議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号 平成30年度小山広域保健衛生組合一般会計予算は、原案のとおり可決されました。

○（議案第2号）の件、説明、質疑、討論、採決

○関 良平議長 日程第6、議案第2号 平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

議案の朗読を省略して、事務局の説明を求めます。

橋本事務局長。

○橋本 薫事務局長 それでは、議案第2号 平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算（第2号）についてご説明申し上げます。

定例会議案書の1ページをお開きください。第1条第1項のとおり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,200万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ56億7,408万3,000円としようとするものでございます。

続きまして、4ページをお開きください。地方自治法第213条の第1項の規定により繰り越して使用することのできる経費は、「第2表 繰越明許費」のとおりでございます。こちらの繰越明許費につきましては、次年度のマテリアルリサイクル推進施設の建設工事及び北部清掃センター解体工事において年度間の調整を行うものであります。

続きまして、5ページをご覧ください。地方債の変更につきましては、「第3表 地方債補正」のとおりでございます。北部清掃センター解体工事に係る公共施設等適正管理事業債及び栃木県市町村振興資金の限度額を7億円に増額するもので、工事費の増額による平成30年度の財源確保のため、財政調整基金からの切りかえによるものであります。

それでは、歳入歳出補正予算の事項別明細書についてご説明申し上げます。8ページ、9ページをお開きください。2の歳入につきましてご説明申し上げます。

1款分担金及び負担金、1項分担金、1目市町村分担金は3億420万1,000円の減額でございます。内訳につきましては、小山市が2億2,544万4,000円の減額、下野市が4,042万1,000円の減額、野木町が2,580万2,000円の減額、上三川町が1,253万4,000円の減額でございます。

続きまして、6款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金は3億円の減額でございます。これは、北部清掃センター解体工事費が増額することに伴い、平成30年度の財源を確保するために、平成29年度の繰り入れを取りやめたためでございます。

続きまして、7款繰越金、1項繰越金、1目繰越金は3億420万2,000円の増額で、平成28年度の余剰金でございます。

続きまして、8款諸収入、2項雑入、1目雑入は3,199万9,000円の増額でございます。これは、南部清掃センターの再商品合理化化拠出金及び中央清掃センター70トン焼却施設の発電売却料について、当初予算では科目設置の1,000円でしたが、額の確定が見込まれるために計上するものでございます。

続きまして、9款組合債、1項組合債、1目衛生債は3億円の増額でございます。これは、北部清掃センターの解体工事費の財政調整基金繰入金の取りやめに伴う増額と、組合債の内訳を変更するものでございます。

10ページ、11ページをご覧ください。3の歳出についてご説明申し上げます。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、18節備品購入費の199万9,000円の減額と、25節積立金の2億2,799万9,000円の増額で、合計2億2,600万円の増額でございます。18節備品購入費につきましては、公用車の調達方法を購入からリースに変更したため、不用額199万9,000円を減額するものでございます。25節積立金につきましては、粗大ごみ処理施設解体工事費用及び第2期エネルギー回収推進施設工事費に充当するため、財政調整基金に積み立てするものでございます。

同じく2目政策管理費は、当初予定されていた人員配置に変更が生じたために、人件費の不用額を減額するものでございます。

3款衛生費、1項保健衛生費、4目小山聖苑費は政策管理費と同様、人件費の不用額を減額するものでございます。

同じく2項清掃費、1目焼却施設費は、人件費の不用額を減額するものでございます。

同じく3目南部清掃センター費は、歳入の8款諸収入が増額したことにより、財源内訳が変更になったものでございます。

同じく5目ごみ処理施設建設費は、人件費の不用額を減額するほか、整備計画変更に伴う委託料の減額、マテリアルリサイクル推進施設造成工事について、実施設計精査及び入札差金により生じた残額1億1,500万円を減額するものでございます。

同じく6目40トン焼却施設費につきましては、歳入の6款繰入金が減額し、8款組合債が増額したことに伴う特定財源の内訳が変更になったものでございます。

以上が、議案第2号 平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算(第2号)の説明となります。よろしくご審議の上、議決をいただきますようお願い申し上げます。

○**関 良平議長** 上程議案に対し質疑を許します。

10番、安藤良子議員。

○**10番(安藤良子議員)** 11ページのところの歳出のところの説明をいただいたのですが、説明の項があつて空欄になっておりますので、できましたら少しは説明のことも入れていただければ、記憶しやすいし、理解しやすいので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

○**関 良平議長** 水野事務局次長。

○**水野辰雄事務局次長兼総務課長** ただいまのご意見、今後そのようにいたしたいと思います。

○**関 良平議長** ほかにございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○**関 良平議長** お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案について、質疑を打ち切り、討論を省略し、直ちに採決したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○**関 良平議長** ご異議なしと認めます。

よって、これより採決いたします。

議案第2号について、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○**関 良平議長** ご異議なしと認めます。

よって、議案第2号 平成29年度小山広域保健衛生組合一般会計補正予算(第2号)は、原案のとおり可決されました。

○職員挨拶

○**関 良平議長** ここで、今月末をもって定年退職となります、大澤会計管理者並びに入江建設課長からご挨拶を申し上げたい旨の申し出がありましたので、許可いたします。

初めに、大澤会計管理者。

〔大澤正幸会計管理者登壇〕

○**大澤正幸会計管理者** ただいま議長の許可をいただきましたので、定年退職に当たってのご挨拶をさせていただきます。

議会終了後のお疲れのところ、貴重なお時間をいただきましてまことにありがとうございます。私ごとで恐縮ですが、3月末日をもちまして定年を迎え、退職することとなりました。

月日のたつのは早いもので、昭和56年に奉職して以来37年がたちましたが、その間多くの方々に支えられ、温かいご指導を受けながら、おかげさまで今日まで勤め上げることができました。私を導いてくださいました上司、先輩方やサポートしてくれた職員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいでございます。

それで最後の1年は、広域保健衛生組合の会計管理者として皆様にもおつき合いをさせていただきました。この間、広域の役員の皆様や関議長を初め議員の皆様方には大変お世話になり、まことにありがとうございました。今後は皆様からお教えいただきました多くのことを心の糧といたしまして、第二の人生を歩んでまいりたいと思っております。

結びに、広域保健衛生組合のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、御礼の挨拶とさせていただきます。大変お世話になり、まことにありがとうございました。（拍手）

○関 良平議長 ありがとうございます。

続きまして、入江建設課長。

〔入江俊文建設課長登壇〕

○入江俊文建設課長 定年退職に当たりまして、組合定例会の貴重なお時間にご挨拶申し上げます機会をいただきまして、まことにありがとうございます。

私は、昭和55年に小山市に奉職して38年間、さまざまな業務を担当させていただきました。最後の3年間は広域で勤務させていただきました。たった3年間でしたが、広域が取り組んでいる事務事業は、構成の市町民の皆様のご生活に密着した、なくてはならない大切な業務であることを非常に痛感した次第でございます。今後は皆様からご教示いただきましたことを心の糧といたしまして、今後の人生を送ってまいりたいと思います。

結びに、小山広域保健衛生組合のさらなる発展と議員の皆様、役員の皆様、執行部の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げてお礼の言葉といたします。大変お世話になりました。ありがとうございます。（拍手）

○関 良平議長 ありがとうございます。

お二人は、永年にわたり行政に携わられ、大変なご苦勞と貢献をされたことと思います。心から感謝を申し上げます次第でございます。

今後におかれましては、健康に十分留意されまして、新たな人生においてさらなる活躍をされますことをご期待申し上げます。大変お疲れさまでございました。

○閉会の宣告

○関 良平議長 以上をもちまして、平成30年第1回小山広域保健衛生組合議会定例会の議事は全部終

了いたしました。

これをもって閉会といたします。

閉会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。今期定例会は、本日1日だけでございましたが、平成30年度予算を初め組合運営にとって重要な案件を審議いただいたもので、議員皆様のご精励により、ただいま閉会宣言できましたことは、議長といたしましてまことに喜びにたえません。議員皆様に終始極めて真剣にご審議いただいたたまものであり、深く敬意を表し、心からお礼を申し上げる次第であります。

終わりに、管理者を初め執行部の皆様のご協力に対し厚く感謝を申し上げ、閉会の挨拶といたします。

本日は大変ご苦労さまでした。

午後 3時50分 閉 会